第4学年 国語科学習指導案

4 年

28名

指導者

古川貴祥

1 単元名 徳島県のウミガメについて、パンフレットにまとめよう。 「ウミガメのはまを守る」(東京書籍 4年下)

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

本学級の学習者は、何事にも興味をもち、積極的に課題に取り組んでいる。読書にも積極的に取り組み、物語を始め、図鑑や生物に関する本もよく読んでいます。また、理科で「ヒョウタンの育ち」や「春・夏の生き物」に関しても、ヒョウタンの観察日記を付けたり、ザリガニやメダカを学校で飼育、観察するなど生き物に興味をもつ学習者も多い。また、総合的な学習では川の汚れを少なくしようと、EM(有用微生物群)についても関心をもって学習している。自分たちの住む地域のよさを感じ、自分も地域の一人として何かできないかという意識をもてるようになってきている。そこで、本単元では、自分たちの地域(徳島県)の環境を守る活動について調べ、パンフレットにまとめ伝え合う学習活動を設定した。

本単元「ウミガメをまもる浜」では、説明文教材を読み取った後、その内容をきっかけにして、調べたり取材したりしたことを、さまざまな成果物にまとめる構成をとっている。3年生でのかべ新聞やポスター作りを受け、本単元では、パンフレット作りを行い、5年生でのブックガイド作りへとつながっていく。なお、4年における説明文読解の学習としては、6月単元「ヤドカリとイソギンチャク」での段落相互の関係を考えながら、意味段落をとらえる学習を受けるものであり、1月単元「くらしの中の和と洋」へとつながるものである。

本単元では、目標を達成するための言語活動として、パンフレット作りを取りあげる。それは、教材文に書かれている内容を正しく読み取り、それをもとに、「環境を守るくふう」について情報を集め、分かったことをまとめ紹介することで伝え合う力を育てるためである。本単元「ウミガメのはまを守る」は、学習者が自分の地域の環境を守る活動について情報収集し、パンフレットを書くための導入・参考として位置づけている。したがって、教材文を読むときには、自分たちが調べたり、書いたりするときの視点を意識させるようにしたい。

本学習材は、「アカウミガメ」の保護に取り組んでいる御前崎町の人々を取りあげた説明文である。御前崎町では、小学生から大人までが、ウミガメを守るために様々な取り組みを行っている。町の人々は人間の環境破壊のせいで「ウミガメ」の生態系が崩れてしまったことを反省し、ウミガメの保護に乗り出す。そして、今では大人も子どももウミガメの保護に向けて様々な取り組みを行っている。そこには「ウミガメが一頭でも多くもどってくるように」という共通の思い(願い)がある。

本時では、完成した「徳島県・日和佐のウミガメ」についてのパンフレットを発表し合い、伝え合うとともに、他の発表の工夫しているところや、分かりやすかったところ、おもしろかったところなどをメモしながら聞く。メモをもとに、他のグループの発表の感想を伝える。他のグループの発表の感想や、自分で情報を集めて苦労したことやおもしろかったことなどを振り返りながら後書きを書くことができるようにする。

(2) 活用する力の育成を図るために

本単元における活用する力を育成する場合は、第3次の自分たちの身近な事柄についてパンフレットを書く場である。学習者が自分たちで集めた情報を活用しパンフレット作りをする過程で、内容をきちんと読み取る力を育成したい。本時は、第4次の第1時にあたる。ここでは、本学習材で学習した論の展開を自分たちが調べた「徳島県のウミガメ」に生かしながらパンフレットにまとめたことを分かりやすく発表するとともに、他のグループの発表についての感想を含めた後書きを書くことができるように支援したい。

3 単元の目標

(1) 学習者の活動目標

徳島県のウミガメについてパンフレットにまとめよう。

(2) 指導目標

生き物の生態に興味をもち、進んで教材文を読むことができるようにする。

段落相互の関係に注意し、要点をとらえて読むことができるようにする。

集めた情報から必要な内容を選び、パンフレットにまとめることができるようにする。

4 単元の評価

	評価規準	「十分満足できる」と判断される状況 「おおむね満足できる」状況にするための手だて	評価の資料
関心 ・ 意欲 ・ 態度	生き物の生態や地域の環境を守る活動について興味をもち、進んで教材文を読もうとしている。	環境を守る活動に関する文章に興味をもち、進んで読もうとしている。 ウミガメの生態や環境を守る活動や絶滅に瀕している動物に関する本を集めたコーナーを教室に設けたりして、環境を整えておく。	・学習者の様子 ・発言 ・絵 ・写真
読むこと	段落相互の関係に注意しながら、要点をとらえて読んでいる。	内容を「序論」「本論」「結論」にまとめたり、細かい点に注意したりしながらを読んでいる。 意味段落ごとに内容をまとめることで、文章全体をつかめるように支援する。	・学習者の様子
書くこと	集めた情報の要点を落とさずパンフレットに書いている。	調べて分かったことや感じたことを要点を落とさずパンフレットに書いている。 教材文の論の進め方をもとに、自分たちで集めた情報を分かりやすく整理してパンフレットを書くことができるよう支援する。	・学習者の様子 ・写真 ・絵

5 学習計画

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	身に付けさせたい力
<p>第1次 (2時間) 興味をもって教材文を読み、感想を述べ合い、学習の見直しをもつ。</p> <p>身近な環境についてパンフレットにまとめることに意欲をもつ。</p>	<p>ウミガメを水族館で見たことがある。</p> <p>ウミガメは徳島県の浜にもあがるよ。</p> <p>ゴミが多くて生き物が困っているね。</p> <p>「ウミガメ」や「環境を守る」ことについて、もっとくわしく知りたいな。</p> <p>ウミガメがたくさん浜にあがるといいな。</p> <p>ウミガメの保護にがんばっている人たちがいるんだ。</p> <p>ウミガメのことをもっと知りたいな。</p> <p>「ウミガメの保護」についてパンフレットにまとめてみようか。</p> <p>日和佐のウミガメについて調べよう。</p> <p>うみがめ博物館に聞いてみよう。</p> <p>保護している地域の人にも聞いてみたいな。</p>	<p>「ウミガメ」や「環境」のコーナーを教室に設けて、環境を整えておく。</p> <p>感想から課題づくりをし、読みのめあてをもたせる。</p> <p>意味段落(まとめ)について知り、意味段落ごとに内容をまとめた小見出しを考えることができるようにする。</p>	<p>教材文に興味をもち、進んで読む。</p> <p>意味段落ごとに内容をきちんと読み取り、小見出しを付ける。</p> <p>内容や文章の中心を考えながら読み、段落の内容をおおまかにとらえる。</p>
<p>第2次 (5時間) 全文を大きく三つのまとまりに分け、読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウミガメの保護に乗り出す経緯について読み取る。 地域の人や小学生の保護活動について読み取る。 人々の願いについて読み取る。 	<p>文章からまとめかたを読み取って、自分たちもパンフレットをつくろう。</p> <p>町人はウミガメを大切にしてきたんだ。</p> <p>開発のためにウミガメが上陸しにくくなってきた。</p> <p>たまごを産まずに海に引き返すウミガメもいる。</p> <p>どうやってウミガメを守っているんだろう。</p> <p>監視員の人保護するためにがんばっているんだ。</p> <p>小学生も保護に取り組んでいる。</p> <p>子ガメは次の夏に海に帰すんだ。</p> <p>どんな願いをもって活動しているんだろう。</p> <p>昔のようにたくさん浜に上陸してほしい。</p> <p>ウミガメの来るきれいな海岸を取り戻したい。</p> <p>たくさんのウミガメに大きく帰ってきてほしい。</p>	<p>保護に乗り出す経緯を読み取ることができるようにする。</p> <p>ウミガメの保護について、保護監視員、小学生の保護活動をまとめることができるようにする。</p> <p>町の人々の願いについてまとめることができるようにする。</p>	<p>重要語句や中心文章を書き出し、ウミガメのはまを守るようになったわけを読み取っている。</p> <p>重要語句や中心文章を書き出し、保護監視員、小学生の保護活動を読み取っている。</p> <p>内容や文章の中心を考えながら読み、段落の内容をおおまかにとらえる。</p>
<p>第3次 (7時間) 身近な地域で行われている活動についてグループに分かれ、テーマにそった情報を集め、整理する。</p>	<p>日和佐のウミガメについて分担して調べ、それをまとめてパンフレットを作ろう。</p> <p>どうやってインタビューすればいいだろう。</p> <p>関係する本やホームページはないかな。</p> <p>教材文の進め方をもとにしてまとめていこう。</p>	<p>パンフレットを学習のまとめとして、ウミガメとその環境を守ることを中心に書けるように声かけをする。</p> <p>活動を行っている博物館や小学校を紹介する。</p>	<p>テーマにそった調べ方を相談して決める。</p> <p>相手に応じた適切なインタビューや質問ができる。</p>
<p>第4次 (2時間) 調べたことを発表し合い、後書きを書き、パンフレットを完成させる。(本時1/2)</p>	<p>それぞれで調べたことを発表し合い、まとめてパンフレットにしよう。</p> <p>みんなで協力して発表できてよかった。</p> <p>くわしく調べているなあ。</p> <p>うまくまとめられてよかった。</p> <p>お世話になった学校や博物館にお礼の手紙を書こう。</p>	<p>発表し合い、良い点に気付いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>お世話になった人たちにパンフレットを送る時にそえるお礼の文を書くことができるようにする。</p>	<p>相手に伝わるように発表の仕方を工夫する。</p> <p>環境を守る活動についての感想やパンフレット作りについて、後書きにまとめる。</p> <p>感謝の気持ちを込めてお礼の文章を書く。</p>

6 本時の学習

(1) 目標

学習者の活動目標

ウミガメの浜を守る活動について発表し合い、後書きを書こう。

指導目標

徳島県内のウミガメのはまを守る活動について、調べたことを発表し合い、分かりやすく伝えるとともに、よさを伝え合うことができるようにする。

(2) 展開

学 習 活 動	指 導 ・ 支 援	具 体 の 評 価 規 準	評 価 の 資 料
1 本時のめあてを確かめる。	後書きを書くことを確認し、発表の仕方、聞き方について確認し合う。		
徳島県のウミガメのはまを守る活動について発表し合い、後書きを書こう。			
2 ウミガメのはまを守る活動について発表する。	伝える相手を意識して、大きな声で分かりやすく発表できるようにする。 発表のよかった点をメモに書きとめ、伝えることができるようにする。	調べたことを分かりやすく伝えることができている。	学習者の様子 発言 発言
3 パンフレットの後書きを書く。	自分たちの取り組みを振り返って書けるようにする。 他のグループの発表を聞いた感想を書けるようにする。	他の発表のよい点に気付き、後書きを書くことができている。	後書き
4 本時のまとめをし、次時の活動への意欲をもつ。	後書きを発表させ、学習のまとめをし、次時への意欲を高めるようにする。		

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	自分や他のグループの発表のよかった所について、よさを認めながら後書きを書くことができている。
「おおむね満足できる」状況にするための手だて	自分の調べていないことや初めて知った情報などに注目してメモをとり、自分や他のグループの発表のよかったことについてまとめさせる。